

令和5年第4回定例会一般質問通告事項

9 月 7 日	藤 本 友 行 ( 新 誠 会 )	質問方式:一問一答方式
	<p>「子育て罰」社会から「子育てボーナス」社会へ</p> <p>1 社会全体で「子ども」を育てるまちづくりについて</p> <p>(1) 「前期子育て世代」が他の世代の約2倍の減少となっている原因と対策</p> <p>(2) 令和5年は、前年の1.6倍の加速度で「出生数」が減少している対策と具体的な予算及び施策</p> <p>(3) 毎年600人が転出超過すると1年間又10年間のマイナス経済効果と又他市と比較して転出超過が進む分析と対策</p> <p>(4) 町内会補助金490円/世帯を5市の平均1,000円/世帯に出来ますか</p> <p>(5) 「公民館」を「まちづくり子育てセンター」等に転換出来ますか</p> <p>(6) 施設運営人数を1人体制から5市平均の3人体制に出来ますか</p> <p>(7) 自治体職員等を地域担当とし、行政サービスの向上を図れますか</p> <p>(8) 職員人事評価システム標準数値97%を約60%に見直し出来ますか</p> <p>(9) 市民サービスの悪化の原因と改善策を示してください</p> <p>(10) 「お出かけ支援事業」や「敬老会事業」を見直し、その一部事業費で「高齢者からまご世代への贈り物事業」とし、「子育てボーナス」とする考えは</p> <p>(11) 「敬老会事業」を区費又は町内会会費とし、事業については地域に委ねてはどうですか</p> <p>(12) 尾道市から「子ども」がいなくなっている各地域ごとの対策</p> <p>(13) 表-1、表-2を見て感じるものは何か</p> <p>2 「子育てボーナス」について</p> <p>(1) 小学校の学年で10人以下、中学校では20人以下となると各地域に情報提供しては</p> <p>(2) 小学校の学年で5人以下、中学校では10人以下となると学校及び地域のあり方を地域と協議しては</p> <p>(3) 6月議会の「市長所信表明」の中で「少子化対策のモデル都市」を表明された立場から少子化の現状を踏まえての施策は</p>	

<p>9 月 7 日</p>	<p>(4) 統合する旧市内3小学校、2中学校のクラス数等はどの時点 を基準とするのか</p> <p>(5) 旧市内3小学校、2中学校の統合は20年後、30年後を考 えると既存中学校を改修し、今は「子育てボーナス」を最優先 としては</p> <p>(6) 昨年12月議会に提案した改修するB案、新築するA案を行 政内部及び市民の意見及び検討結果をお示してください</p> <p>(7) 本年6月議会の所信表明では「まち全体で子育てを支える」 とした「子育てボーナス」の組み合わせを示してください</p> <p>(8) 表-3、表-4、表-5を見て感じるものは何か</p>
----------------------------	---